

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
日本語Ⅱ	共通	1年生・後期	2単位	選択	古川 幸子	
履修の前提条件		漢字の読み書き、また作文論文表現能力への向上意欲を持っていること。				
授業概要 (Course Outline)						
正しい文法で短い文章を作る練習から始め、最後には長い文章(レポート)が書けるようになるよう課題に取り組む。書くことだけにとどまらず、コミュニケーション能力の向上も目指し、お互いの異文化に触れながらディスカッションをして理解を深める。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving					
	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
市民としての社会的責任 Social Responsibility						
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
日本の留学生活における様々な場面で必要とされる文章を読み書きできる力を身につける。自分の意見を自分の言葉で表現する力、また相手の意見を明確に理解できる力を身につける。						
事前学習の内容	配布されたプリントに目を通して理解を深めておく。					
事後学習の内容	授業内容で扱った表現を復習し、テーマについて考える。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
自分の考えを正しく表現することが目標であるので、考える→話す→聞く→書く(まとめる)という順番で進める。授業中は意見を求めることも多いので、予告されたテーマについて準備しておくこと。最後の課題、レポートはWordで提出。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
授業時間前後の休み時間など。教務課内にて受け付けます。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション、講義方針説明、受講上の注意など		
第2回	書き言葉と話し言葉、文体について		
第3回	状況を説明し、意見を述べる(程度を表す副詞)		
第4回	段落を作る(中心文と支持文)		
第5回	段落を作る(起承転結)		
第6回	文や段落をつなぐ練習(接続詞)		
第7回	体験したことを書く		
第8回	テーマに沿って意見文を書く①準備(疑問提示、伝聞、因果関係、予想、意見主張の表現)		
第9回	テーマに沿って意見文を書く②課題について話す		
第10回	レポートを書くための基礎知識と構成①		
第11回	レポートを書くための基礎知識と構成②引用の表現		
第12回	レポートを書くための基礎知識③資料を利用して書く		
第13回	レポートを書く(資料をまとめる、下書きをする) *		
第14回	レポートの修正、書き直し。		
第15回	レポートをもとに発表。まとめ。		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
大学で学ぶための日本語ライティング	佐々木瑞枝・細井和代・藤尾清子	The Japan Times	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
成績評価の方法: 定期試験60%、平常点20%(授業態度、提出物の内容など)			

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
日本語Ⅱ (J2)	共通	1年生・後期	2単位	選択	全 彰煥	
履修の前提条件	留学生を対象者とする中級日本語講座である。 主に、中級から上級へレベルアップするための学習をする。					
授業概要 (Course Outline)						
①「日本語能力試験」N1の語彙、文法と「漢字検定3・4・5級」の漢字を学習する。 ②「日本語能力試験」N2, N1の重要表現を文型を中心に学習する。 ③「日本語能力試験」N1の文法問題を課題として熟知する。 ④ インターネット・ニュースを持って時事問題を接し、聴解力と発表力を鍛えさせる。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ leadership					○
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
①「日本語能力試験」N1の語彙、文法を学習する。 ②「日本語能力試験」N1と「漢字検定」4級以上の受験・取得を目指す。 ③ インターネット・ニュースを通して聴解力と発表力の向上を目指す。						
事前学習の内容	① テキストの「例示問題」「練習問題」を事前学習する。 ② 漢字検定のレベル別漢字を学習する。					
事後学習の内容	①「日本語総まとめ」問題を提出する。 ② 出席カード用漢字検定問題を復習する。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
① 指定のインターネット・ニュースを発表する。 ② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
① 連絡・問い合わせ・相談: 研究室(453)にて随時受け付ける。 ② オフィスアワー: <水>2-5限目 ③ メール: jonhan@kiis.ac.jp						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
① 外部試験:「日本語能力試験(JLPT)」N1と「漢字検定」4, 3級を受験する。 試験結果は成績評価の対象とする。 ② 学習確認:ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション (講義概要、レポート作成法、テスト形式等説明)		
第2回	表現文型①: 動作の対象	漢字テスト(5級)①	聴解・発表(インターネットニュース)①
第3回	表現文型②: 目的・手段・媒介	漢字テスト(5級)②	聴解・発表(インターネットニュース)②
第4回	表現文型③: 起点・終点	漢字テスト(5級)③	聴解・発表(インターネットニュース)③
第5回	表現文型④: 時点・場面	漢字テスト(5級)④	聴解・発表(インターネットニュース)④
第6回	表現文型⑤: 時間的同時性	漢字テスト(5級)⑤	聴解・発表(インターネットニュース)⑤
第7回	表現文型⑥: 進行・相関関係	漢字テスト(4級)①	聴解・発表(インターネットニュース)⑥
第8回	表現文型⑦: 付帯・非付帯	漢字テスト(4級)②	聴解・発表(インターネットニュース)⑦
第9回	表現文型⑧: 限定	漢字テスト(4級)③	聴解・発表(インターネットニュース)⑧
第10回	表現文型⑨: 非限定・付加	漢字テスト(4級)④	聴解・発表(インターネットニュース)⑨
第11回	表現文型⑩: 比較・最上級・対比	漢字テスト(4級)⑤	聴解・発表(インターネットニュース)⑩
第12回	表現文型⑪: 判断の立場・評価の時点	漢字テスト(3級)①	聴解・発表(インターネットニュース)⑪
第13回	表現文型⑫: 基準	漢字テスト(3級)②	聴解・発表(インターネットニュース)⑫
第14回	表現文型⑬: 関連・対応	漢字テスト(3級)③	聴解・発表(インターネットニュース)⑬
第15回	表現文型⑭: 無関係・無視・例外	漢字テスト(3級)④	聴解・発表(インターネットニュース)⑭
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「日本語表現文型500」 —中・上扱—	友松悦子・宮本淳 和栗雅子	アルク	ISBN-13: 978-4757418905
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「日本語総まとめ」 —N1、文法—	佐々木仁子・松本紀子	アスク出版	978-4-87217-726-8 C0081
「書き込み式、漢字の学習」 —漢検対応—	明治書院教科書編集部	明治書院	978-4-625-23302-9 C7081
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
① 定期試験 ⇒ 50%、課題/聴解・発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20% ② 平常点は、「外部試験」、「ポートフォリオ: 科目別履修確認チェック表」の評価を含む。			